琉球大学学術リポジトリ

西表実験所35年の歩み　－資料編－　退官記念

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 新本光孝 公開日: 2010-01-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新本, 光孝, Aramoto, Mitsunori メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/14527

西表実験所35年の歩み

ー資料編ー

退官記念

平成20年(2008年) 3月吉日

琉球大学熱帯生物圏研究センター

新本 光孝

はじめに

創設当初から勤務した西表実験所を離れるにあたり、所員及び農学部の先生方からこれまでの記録をまとめて残してはどうかとの話しがあったのは 4 月に入ってからでした。草創期から今日まで熱帯農学研究施設、そして西表実験所の研究基盤の整備にかかわってきた者として、当然のこととしてお引き受けすることにしました。

しかしながら当初から予想されていたことですが、退官間際になるといろいろの仕事におわれて、資料の収集・整理、構成内容に時間を充分にさくことができず、単純、粗雑な形になってしまいました。

これまで、西表実験所の歩みについては、「附属熱帯農学研究施設 20 年の歩み」（平成 3 年(1991) 12 月）にまとめられています。ここでは、改めて設置計画の段階から、創設、統合等35年の歩みを「資料編」としてまとめました。

西表実験所の沿革は大きく次のように分けられます。

○ 農学部附属熱帯農学研究施設

（昭和 46 年 12 月 3 日～平成 6 年 6 月 23 日）

教育研究棟・宿泊棟・研究圃場等の基幹整備が図られた。

○ 熱帯生物圏研究センター西表実験所

（平成 6 年 6 月 24 日～平成 16 年 3 月 31 日）

10 年時限が付されて熱帯海洋科学センターと統合され、全国共同利用施設となった。

○ 熱帯生物圏研究センター西表実験所

（平成 16 年 4 月 1 日～現在に至る）

時限到来と国立大学法人化が重なったが、引き続き全国共同利用施設として存続が認められた。

本資料編はこれまでの資料を設立にかかわる「設置計画書」、熱帯海洋科学センターとの「統合資料」、法人化に伴う新センターへの「移行資料」として取りまとめました。

西表実験所が今日の発展をみることができるのも、歴代学長をはじめ全学的なご支援ご協力によるものであります。なかでも、創設にかかわり、深い思い入れをしてくださった宮里清松、砂川季昭（初代施設長）、泉　裕巳の、故三農学部長に対しては写真を掲載するとともに当時の「メモ」や「想い出の記」を収録し、感謝の念を捧げたいと存じます。

最後に編集にあたり、資料の整理にご尽力頂いた堤ひとみさんに深く感謝するとともに、本資料編が西表実験所の将来構想を立案するための資料として少しでも役立てばこれ以上の喜びはありません。

平成 20 年（2008 年）3 月吉日

森林環境資源研究領域
教 授　　新本　光孝

目　　次

はじめに

Ⅰ　熱帯農業科学研究所 設立計画

1）1970年11月 ・・ 1

2）1970年12月 ・・ 11

Ⅱ　農学部22年の歩み　― 創立から国立移管まで ―　1972年5月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

Ⅲ　熱帯農学研究施設概要　昭和47年 6月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

Ⅳ　熱帯農学研究施設研究・宿泊棟落成式　昭和51年7月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

Ⅴ　熱帯農学研究センター設立について　昭和55年7月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81

Ⅵ　琉球大学農学部付属熱帯農学研究施設 土地利用の現状と計画　昭和59年12月 ・・・・・・・・ 93

Ⅶ　宮里清松教授退官記念誌　昭和61年 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119

Ⅷ　環境保全・土地利用研究部門設置要求説明資料　平成4年6月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 129

Ⅸ　琉球大学熱帯生物圏研究センター(仮称) 設置計画書（改訂版）平成5年6月 ・・・・・・・・・ 153

Ⅹ　なかゆくい

1）No92　1993年 3月 ・・ 235

2）No93　1993年 9月 ・・ 243

ⅩⅠ　泉 裕巳教授退官記念誌 思い出の記 ― 琉大勤務を終えて―　平成6年 5月 ・・・・・・・・・ 247

ⅩⅡ　琉球大学熱帯生物圏研究センター西表実験所土地利用の変遷　平成12年11月 ・・・・・・・・ 259

ⅩⅢ　琉球大学五十年史　平成12年12月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 265

ⅩⅣ　熱帯生物圏研究センター 外部評価資料平成15年 2月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 275

ⅩⅤ　琉球大学熱帯生物圏研究センター外部評価結果　平成15年2月 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 295

ⅩⅥ　熱帯生物圏研究センター 設置計画(案)(熱帯生物圏研究センターの廃止)

《説明資料》平成15年3月 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 309

○琉球大学熱帯生物圏研究センター改組（1．2．3.） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 329

○新聞記事集 ・・ 337

○研究業績リスト ・・ 351

○イラスト図面 ・・・ 391

○シンポジウム関係資料（表紙のみ） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 399

≪ 西表実験所の主要な年譜 ≫

1970年	昭和45年	熱帯農業科学研究所 設立計画 11月 熱帯農業科学研究所 設立計画 12月
1971年	昭和46年	・琉球政府から研究用地の貸付を許可された。(11月) ・琉球大学農学部附属熱帯農業科学研究施設が設置された。(12月)
1972年	昭和47年	農学部22年の歩み － 創立から国立移管まで － 5月 ・沖縄の本土復帰に伴い琉球大学は国立大学へ移管された。(5月) ・正式名称が熱帯農学研究施設と決定された。(5月) 熱帯農学研究施設概要 6月
1973年	昭和48年	・早生温州みかん導入園が造成された。(3月)
1974年	昭和49年	
1975年	昭和50年	・施設内道路580mが開設された。(3月) ・車庫150mが竣工した。(3月) ・職員宿舎(2棟3戸)が竣工した。(11月)
1976年	昭和51年	・教育研究宿泊棟678.60㎡及び食堂棟92.60㎡が竣工した。(3月) ・施設内道路500mが開設された。(3月) ・教育研究宿泊棟落成式(5月) 熱帯農学研究施設研究・宿泊棟落成式 7月
1977年	昭和52年	・職員宿舎(1棟2戸)が竣工した。(3月) ・灌水施設が竣工した。(12月)
1978年	昭和53年	
1979年	昭和54年	・ 竹富町より宿舎用地3,861.45㎡を購入した。(3月)
1980年	昭和55年	熱帯農学研究センター設立について 7月 ・ガラス室200㎡(1棟)が竣工した。(3月)
1981年	昭和56年	・ガラス室200㎡(1棟)が増設された。(3月)
1982年	昭和57年	
1983年	昭和58年	・作物調査室120㎡が竣工した。(1月) ・新圃場10haが造成された。(11月) ・ダムが竣工された。(11月)
1984年	昭和59年	琉球大学農学部付属熱帯農学研究施設 土地利用の現状と計画 12月
1985年	昭和60年	
1986年	昭和61年	宮里清松教授退官記念誌
1987年	昭和62年	
1988年	昭和63年	・教育研究棟第2号館454.65㎡及び圃場管理作業棟・農用機械格納庫450㎡が竣工した。(3月) ・教育研究棟第2号館454.65㎡・圃場管理作業棟の落成式(5月)
1989年	平成元年	
1990年	平成2年	
1991年	平成3年	附属熱帯農学研究施設20年の歩み 12月 〔別冊〕 ・道路の舗装工事(3月)
1992年	平成4年	環境保全・土地利用研究部門 設置要求説明資料
1993年	平成5年	琉球大学熱帯生物圏研究センター(仮称) 設置計画書(改訂版) 6月 なかゆくい No92 3月、なかゆくい No93 9月
1994年	平成6年	泉 裕巳教授退官記念誌 思い出の記 － 琉大勤務を終えて－ 5月 ・海洋科学センターと統合し熱帯生物圏研究センターになった。
1995年	平成7年	
1996年	平成8年	・宿泊棟が竣工した(3月)
1997年	平成9年	
1998年	平成10年	
1999年	平成11年	
2000年	平成12年	琉球大学熱帯生物圏研究センター西表実験所土地利用の変遷 11/28 琉球大学五十年史 12月
2001年	平成13年	
2002年	平成14年	
2003年	平成15年	熱帯生物圏研究センター 外部評価資料 2月 琉球大学熱帯生物圏研究センター外部評価結果 2/20 熱帯生物圏研究センター 設置計画(案)(熱帯生物圏研究センターの廃止)《説明資料》3月
2004年	平成16年	・国立大学法人琉球大学熱帯生物圏研究センターとなった。
2005年	平成17年	
2006年	平成18年	
2007年	平成19年	
2008年	平成20年	